

宮崎県での口蹄疫発生に伴い直ちに防疫対応

—徹底した防疫対策を実施中—

4月20日、宮崎県での口蹄疫疑似患畜確認の一報を受け、当センター（碓高原牧場含む）では直ちに「家畜の健康観察」、「関係者以外の牛舎等関連施設への立入・通行制限」、「飼料運搬・集乳車両の施設入口での消毒」の徹底による防疫対策を実施しています。畜産体験学習の中止やふれあい施設への入場制限など若干の府民サービスの低下を来しますが、引き続き徹底した防疫対策に努めます。



牛舎周辺に消石灰を散布



牛舎入口に「立入禁止」を標示

畜産センター

鉄コーティングした飼料イネ種子の直播で省力化を探る

－「ひこばえ」の家畜の飼料利用の可能性も検討－

当センターでは、府内で作付けが着実に増えている「飼料イネ」の一層の利用拡大のため、「水田作物由来地域未利用資源の飼料化技術の開発」と題した「飼料イネ」の栽培試験を開始しました。試験では、栽培の省力化を図るため、田植えをするのではなく水田ほ場に水に浮かない鉄コーティングした種子を直接播きました。秋には収穫量を調査するとともに、ホールクロップサイレージの調製法や刈取り後に再生する「ひこばえ」の家畜の飼料化についても検討します。



試験ほ場に散粒機を用いて播種

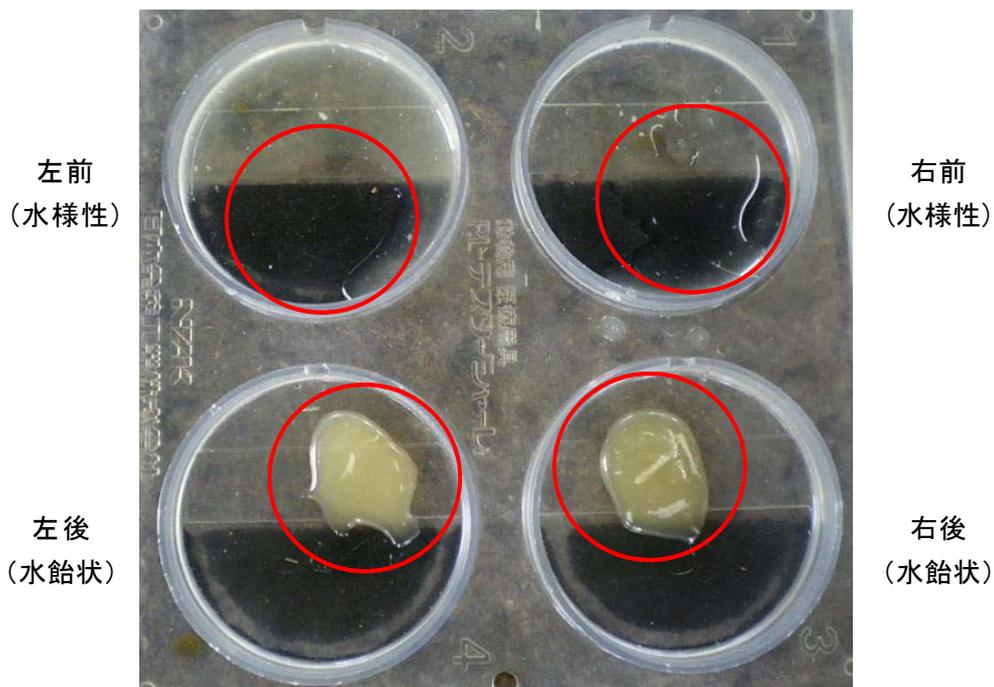


「飼料イネ」の種子(右：鉄コーティング)

乳房炎のお産前発見による酪農経営安定をめざす

—分娩前の乳汁性状で乳房炎を予測—

牛の乳房炎は、細菌が乳房内に侵入して起こる病気で、牛乳の質や量の低下を招くことから、酪農経営上大きな問題となっています。そこで、お産前の乳汁性状を観察し、早期に乳房炎の兆候をつかみ、早期に乳房炎対策を行うための試験を開始しました。具体的には、お産前の乳汁性状とお産後の乳汁中の体細胞(主に白血球)数、お産前後の乳汁中細菌の種類や量との関連性を調べます。



1頭の牛の4つの乳房から採取したお産前の乳汁（水様性の乳汁は乳房炎の前兆）

元気で安全な「京地どり」の生産をサポート

—種鶏検査に合格—

「京地どり」は、畜産センターが平成2年に作出したブランド畜産物です。平らな地面のゆったりとした鶏舎で、十分運動させながら約4か月間じっくり育てることで、「旨み」と「歯ごたえ」がある”おいしい鶏肉”になります。今回、当センターで丹精込めて育てた「京地どり」の親鶏(種鶏)が、家畜保健衛生所による衛生検査に合格しました。種鶏は年2回、京都市内の種鶏場へ譲渡し、種鶏場で生まれたひなは生産農場で育てられ、消費者に届けられます。



「京地どり」



家畜保健衛生所職員による種鶏検査

畜産センター

牧草（1番草）の刈取り作業終了

－秋から冬にかけての飼料を確保－

5月17日に開始した牧草(1番草)※の刈取り作業は、春の低温による生育の遅れや天候不順で遅れていましたが、5月中にほぼ終了しました。23ha(甲子園球場約6個分)の草地で刈取った約70t(平年の5t増)の牧草は、白いフィルムで包んでサイレージ(牧草の漬け物)にし、牛の秋・冬用飼料として貯蔵します。



ズラリと並んだ白いサイレージ

※牧草の刈取は、1番草が5月から6月、2番草が7月、3番草が9月から10月の年3回行います。

畜産センター
碓高原牧場

種雄候補牛「京芳照」産子の枝肉調査を実施

平成20年6月に開始した種雄候補牛「京芳照」産子3頭の肥育試験が終了し、枝肉調査を行いました。出荷体重は868.7±2.5kgとバラツキがなく良好で、肉質を表す枝肉等級*は「A-4」、「A-3」、「A-2」でした。他の肥育農家の成績を合わせた枝肉上物率**は38%（8頭中3頭が「A-5」、「A-5」、「A-4」）となりました。

枝肉調査の概要

NO	名号	と畜成績																	出荷月齢	生体重		
		等級		歩留					肉質													
		歩留	肉質	枝肉重量(左)(右)	胸最長筋面積	ばらの厚さ	皮下脂肪の厚さ	歩留基準値	BMS No.	脂肪交雑等級	BCS No.	光沢	等級	締め	等級	BFS No.	光沢と質	等級			枝肉総重量(kg)	
1	幸美12の1の1	A-4		265.0 261.8	53	8.0	2.3	73.0	5	4	3	4	4	4	4	4	3	5	5	526.8	34.3	831
2	金福の5	A-2		260.6 260.8	56	8.0	1.6	74.1	3	3	5	2	2	3	2	2	3	4	4	521.4	33.9	838
3	玉碓99の3	A-3		267.6 269.0	51	8.4	1.4	73.7	3	3	4	3	3	3	3	3	3	5	5	536.6	33.3	841



左から、1号「A-4」、2号「A-2」、3号「A-3」の枝肉断面

※枝肉等級：歩留等級がA～C、肉質等級が1～5の組み合わせで15段階に分かれ、「A-5」が最高等級

※※枝肉上物率：枝肉等級が「A-5」、「A-4」に格付けされた枝肉が全体に占める割合

黒毛和種雄牛が種畜検査に合格

家畜改良増殖法に基づく定期種畜検査は、種畜の交配に伴う疾病のまん延防止と優良な種畜利用による効果的な改良を進めるために実施するもので、年一回の受検が義務づけられています。受検した4頭は、伝染性疾患や精子検査などの精密検査に異常がなく、農林水産大臣から種畜証明書の交付を受けました。



種畜検査を行う検査員(国等の職員)

初夏の碓高原でめん羊の毛刈り

～一足先にクール・ビズ～

5月7日、恒例の「めん羊の毛刈り」を行いました。毛がふさふさに伸びていた10頭のめん羊は、冬の装いから衣替えし、気持ち良さそうに「ふれあい広場」を駆け回り、涼しげな容姿で愛嬌を振りまっています。刈り取った羊毛は、6月に開催される「碓高原まつり」で、羊毛の糸つむぎ体験に使用されます。



めん羊の毛刈りに奮闘中

畜産センター
碓高原牧場